

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	036 -	事業名	消防補助事業			担当部課	くらし文化部安心安全課			
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち				会計区分	一般会計			
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～					予算区分(款 - 項 - 目)			
	第6次総合計画・基本目標	-				8-1-1 常備消防費				
	法定受託事務の有無	-								
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 長久手市補助金等交付規則、長久手市女性消防クラブ補助金交付要綱								
事業開始の背景、経緯等		団体の設立時から事業支援として補助金を交付し、現在も継続実施している。								
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市女性消防クラブが実施する事業経費について、補助金の交付を行う。								
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 長久手市女性消防クラブ								
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 団体が実施する事業の経費を補助することで、災害の発生防止等の事業が推進できるよう支援する。								
	事業を構成する事務事業(B票)	① 消防補助事業	②	③	④	⑤	⑥			
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	事業費(A)	千円	予算	450	450	450	350	350		
			決算	433	450	450	350			
	人件費(B)	千円	決算	229	229	242	874			
総コスト(A)+(B)		千円	決算	662	679	692	1,224			
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	A クラブ活動参加延べ人員	人	目標	-	200	250	250	250	250	
			実績	232	256	264	283	283		
	B クラブ活動事業	回	目標	-	30	35	35	35	35	
			実績	37	39	41	44	44		
	C		目標							
実績										
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)										
A 女性消防クラブ員の活動参加人数により、クラブ員個々の活動姿勢が把握でき、補助金の有効性を判断できる。										
B 女性消防クラブの活動事業数により、団体としての事業展開が把握でき、補助金の有効性が判断できる。										
C										
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化		(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣他市においても同様な補助事業を実施している。							
評価	目標達成状況		(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) クラブ活動を積極的に展開し、それに伴い参加人数も増え、災害発生防止事業の推進ができています。							
	過去5年間の振り返り		(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 消防の広域化があり、補助対象団体が一つ減ったことにより、事業予算を縮小した。							
	事務事業全体を見た課題		(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) クラブ員の代謝が図られていないため、活動力が落ちてきている。							
今後	今後の方向性		(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) クラブ員の代謝が少なく活動力が落ちてきているので、新規クラブ員の獲得を促進する。							
	中長期の目標		(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 一旦、クラブ員の意向確認をし、その後必要に応じて新規クラブ員の獲得を促進する。							

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	消防補助事業		担当部課	くらし文化部安心安全課	決算書ページ	—
事務事業名	①	消防補助事業	予算区分	8-1-1 常備消防費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和60年度	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市女性消防クラブの実施する事業経費に対し、補助金を交付している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 団体が実施する事業の経費を補助することで、災害の発生防止等を推進する事業が実施できるよう支援する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算	450 433	450 450	450 450	350 350	350
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		女性消防クラブ補助金				350	千円
(2)							千円
(3)							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
クラブ活動参加 延べ人員	人	見込 実績	— 232	200 256	250 264	250 283	250
		見込 実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
<ul style="list-style-type: none"> 防火広報の実施 防災訓練の参加 市民まつりでの防火啓発 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

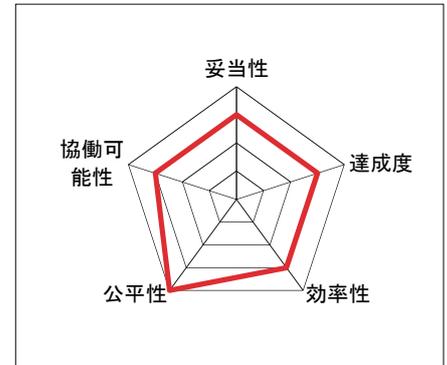
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 消防の広域化により、事務局が変更となり、活動の下支えができなくなった。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
350 千円 350 千円 0 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 縮小
・前年度【コメント】
・危険物安全協会への補助事業は、本市事業から尾三消防組合へ移行した。
・女性消防クラブは、事務局が新体制になることと、拠点が消防本部から市役所に移ることで、事業活動に支障がでることが予想されるので、現状を見定める必要がある。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
危険物安全協会への補助金は終了した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	200	250	250	250
実績	256	264	283	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
クラブ員が全員市民であり、活動全てが該当する。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
市民まつりで炊き出しを実施した。 毎月の防火広報を実施した。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
クラブの構成員数と実活動員数に差があるので、クラブ員の精査が必要。

7. 今後の方向性

縮小
